



ワクワクする授業の構築

- ・子どもたちが自らの考えを中心に進める授業の構築
- ・授業のUD化（並柳スタイル）
- 「今日はこれ」「かぎ」「ふりかえり」が位置づいた授業
- ・学び方を学ぶことができる授業
- 自らの課題を追求できる探究的な学び
- 自分に合ったペースや方法で
- 「わかった」「できた」を感じられる学び
- ・教科担任制の積極的導入（高学年必須）
- ・家庭学習の捉えなおしと充実
- ・ICT 機器の活用

**共につながり認め合う
インクルーシブな関係づくり**

- ・自分のよさや相手のよさを見つけ、認め、感謝する一人ひとりが活躍できる場（特別活動）の充実
- 朝や帰りの会を利用した振り返りや相互評価
- ・子どもたちと対話できる時間の積極的確保（何気ないやりとりを大切に）
- ・学年を超えた（他学年、他校、幼保、地域）交流活動の充実
- ・夢や希望、個々の良さを語り合える人間関係の構築（子どもも教師も共に）

研修で教師も学びを深める

- ・リーディングスクール事業を活用した「専門分野研修」
- ・授業公開、参観を軸とした「授業づくり研修」
- ・子どもを知り、支え伸ばしていくための「児童理解・特別支援教育研修」
- ・地域を知り、連携を深める「地域研修」
- ・子どもの学び、働き方改革につながる「ICT 研修」

地域と共に子どもたちを育てる

- ・コミュニティースクールの活性化
- ・地域を素材とした総合的な学習、生活科の学びの実施
- ・学校と地域の連携充実（クラブ活動、あいさつ運動、読み聞かせ等）
- ・学校と家庭の連携強化（授業参観、学級懇談、お便り、学校評価等）
- ・地域行事、活動への児童の参画

教育活動の重点

家庭へのおねがい

- 1 早寝 早起き 朝ご飯
- 2 笑顔であいさつ
- 3 できることからお手伝い
- 4 家族のふれあい 読書の時間
- 5 地域の行事への参加
- 6 家庭学習の習慣化

